

NPO法人発酵文化推進機構

第12回 秋の記念講演

# 食は命なり

子どもの教育から考える

発酵食品

2024.10.21(月)

14:00~17:00 (13:30受付開始・開場)

日本橋室町野村ビル「野村コンファレンスプラザ日本橋」

6階大ホール

(東京都中央区日本橋室町2-4-3)

入場無料

※懇親会は  
会費制となります

## プログラム

- |             |   |
|-------------|---|
| 14:00~14:10 | 開会・理事長挨拶  |
| 14:15~15:30 | 映画『いただきます みそをつくるこどもたち』上映(75分)                         |
| 15:40~16:40 | 講演「食は命なり ~子どもの教育から考える発酵食品~」(60分)<br>小泉武夫(発酵文化推進機構理事長) |

テーマ

## 食は命なり ～子どもの教育から考える発酵食品～



©中西裕人

今年で12回目を迎える秋の記念講演は、「食べものが、人を育てる意義」を皆さんと考えたいと思います。皆さんは、『いただきます みそをつくるこどもたち』というドキュメンタリー映画をご覧になったことはありますか？ この映画は「食育」という概念がなかった時代から玄米、みそ汁、納豆、季節の野菜という給食を実践する高取保育園（福岡県）の1年間を追ったドキュメンタリーです。高取保育園では麴を使い、毎月100キロのみそを子どもたち自身が作ります。こうしたみそ作りや食事の用意を通じて、子どもたちが「食が命をつくること」を学ぶ様子が撮影されています。私もこの映画に出演して「自分たちのみそを作り、毎日食べる高取保育園の子どもたちは日本一幸せで、こんな子どもたちが増えたら日本も安心だな・・・」と心から感じました。

本年の講演会では、このドキュメンタリー映画『いただきます みそをつくるこどもたち』を上映し、皆さんと一緒に鑑賞します。その後、「食は命なり ～子どもの教育から考える発酵食品～」と題して、私が考える食を通じた教育の大切さをお話しさせていただきます。これからの日本を支える皆さんへの、私からの強いメッセージです。

発酵文化推進機構理事長 小泉武夫

---

こいずみ・たけお 1943年福岡県の酒造家に生まれる。東京農業大学名誉教授。農学博士。専門は食文化論、発酵学、醸造学。現在、多くの公職のかたわら鹿児島大学、福島大学、石川県立大学、宮城大学などの客員教授を務める。特定非営利活動法人発酵文化推進機構理事長。全国発酵のまちづくりネットワーク協議会会長。食に関わる様々な活動を展開し、発酵の魅力を広く伝えている。著書は『発酵食品と戦争』『酒の話』『食と日本人の知恵』『江戸の健康食』、小説『食いしん坊発明家』など単著150冊以上。日本経済新聞掲載の「食あれば楽あり」は30年間にわたり連載中の人気エッセイ。